

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									<b>2.9</b>	
<b>Q-1 室内環境</b>							<b>0.30</b>		<b>3.0</b>	
<b>1 音環境</b>							<b>3.0</b>	0.15		<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>							<b>3.0</b>	0.40		
1 暗騒音レベル							3.0	1.00		
2 設備騒音対策										
<b>1.2 遮音</b>							<b>3.0</b>	0.40		
1 開口部遮音性能							3.0	0.60		
2 界壁遮音性能							3.0	0.40		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
<b>1.3 吸音</b>							<b>3.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>							<b>3.0</b>	0.35		<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>							<b>3.0</b>	0.50		
1 室温設定							3.0	0.30		
2 換気熱源・温度制御性										
3 外皮性能					W		3.0	0.20		
4 ゾーン別制御性							3.0	0.50		
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空室に対する配慮										
8 監視システム										
<b>2.2 湿度制御</b>							<b>3.0</b>	0.20		
<b>2.3 空調方式</b>							<b>3.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>							<b>3.0</b>	0.25		<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>							<b>3.0</b>	0.30		
1 昼光率							3.0	0.60		
2 方位別開口										
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40		
<b>3.2 グレア対策</b>							<b>3.0</b>	0.30		
1 透明層裏のグレア										
2 昼光制御					W		3.0	1.00		
<b>3.3 照度</b>							<b>3.0</b>	0.15		
1 照度							3.0	1.00		
2 照度および調光										
<b>3.4 照明制御</b>							<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>							<b>3.0</b>	0.25		<b>3.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>							<b>3.0</b>	0.50		
1 化学物質汚染							3.0	1.00		
2 化学物質対策										
3 デモ・カビ等										
4 レジネ対策										
<b>4.2 換気</b>							<b>3.0</b>	0.30		
1 換気量							3.0	0.33		
2 自然換気性能							3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.33		
4 給気計画										
<b>4.3 運用管理</b>							<b>3.0</b>	0.20		
1 CO <sub>2</sub> の監視							3.0	0.50		
2 喫煙の制御							3.0	0.50		
<b>Q-2 サービス性能</b>								<b>0.30</b>		<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>							<b>3.0</b>	0.40		<b>3.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>							<b>3.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性							3.0	0.33		
2 高度情報通信設備対応							3.0	0.33		
3 バリアフリー計画							3.0	0.33		
<b>1.2 心理性・快適性</b>							<b>3.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観							3.0	0.33		
2 リフレッシュスペース							3.0	0.33		
3 内装計画							3.0	0.33		
<b>2 耐用性・信頼性</b>							<b>2.9</b>	0.31		<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>							<b>3.0</b>	0.48		
1 耐震性							3.0	0.80		
2 免震・制振性能							3.0	0.20		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>							<b>3.0</b>	0.33		
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		3.0	0.29		
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12		
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29		
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29		
<b>2.3 適切な更新</b>										
1 床・壁・天井・外壁仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
<b>2.4 信頼性</b>							<b>2.8</b>	0.19		
1 空調・換気設備							4.0	0.20		
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20		
3 電気設備							1.0	0.20		
4 機械・配管支持方法							3.0	0.20		
5 通信・情報設備							3.0	0.20		

1. 換気設備の重要度に応じてシステムを区分し、災害時には重要度の高いシステムを優先的に運転するほか、負荷容量を下げた運転も可能となるよう検討している。  
2. 熱源種の分散化、二重化、バックアップを行っている。

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.3</b>	0.29	-	-	<b>3.3</b>
3.1 空間のゆとり					<b>4.2</b>	0.31	-	-	
1 階高のゆとり				倉庫用途なので階高を高く設定している	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり					<b>3.0</b>	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性					<b>3.0</b>	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.8</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>2.5</b>	0.40	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.2</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.8</b>
1 建物の熱負荷抑制	W					-	-	-	-
2 自然エネルギー利用					<b>3.0</b>	0.29	-	-	<b>3.0</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				-	-	-	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			省エネ届により、マニュアルに記載している通りのレベル	<b>5.0</b>	0.43	-	-	<b>5.0</b>
4 効率的運用					<b>3.0</b>	0.29	-	-	<b>3.0</b>
4.1 モニタリング	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
1 水資源保護					<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水	W				<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					<b>3.0</b>	0.85	-	-	<b>3.0</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>3.0</b>	0.43	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>3.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料					<b>3.0</b>	0.10	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				-	-	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				<b>3.0</b>	0.21	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.0</b>	0.21	-	-	
1 消火剤	W				3.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制					<b>3.0</b>	0.05	-	-	<b>3.0</b>
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制			S		3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		工場	-	-	-	面積按分 総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5,472 m2	-	-	-	-
3	設備システムの 高効率化	ERRIによる評価 個別設備による評価	5.0	-	-	5
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-